

主題：イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 8

キリスト・イエスの内側の各部分の中で生きることによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

(2)

からだを意識することによって、またキリスト・イエスの内側の各部分の中で
召会生活を実行することによって、キリストのからだの中で生きる

聖書：I コリント12:26-27. ローマ12:4-5, 15. ピレモン7, 12-16, 20

I. キリスト・イエスの内側の各部分の中で生きれば生きるほど、キリストのからだ
の意識はますます大きくなり、キリストのからだに対する感覚はますます強くな
ります——I コリント12:26-27. ローマ12:15:

A. からだの生活を生きるために、わたしたちはキリストのからだを意識する必要
があります——4-5, 15節。

B. キリストのからだの意識は、わたしたちの内側にあるキリストの命の感覚で
す——コロサイ3:4, 15. ローマ8:2, 6, 10-11. 12:4-5:

1. この感覚は、神の霊と、わたしたちの霊の中の神の命から生じます——8:2,
9-10。

2. わたしたちがこの感覚を活用するなら、それはわたしたちにからだに関する
事柄を意識するようにならせ、そしてこの感覚はからだの意識となりま
す——12:15. II コリント11:28-29。

3. もしわたしたちにからだの感覚、意識があるなら、他の者たちが苦しんだり、
祝福されたりするとき、彼らと一体感を持って、同じ困難や祝福を感じるで
しょう——I コリント12:26-27。

C. キリストのからだの意識は、キリストとの有機的な結合から、キリストを享受
することから、キリスト・イエスの内側の各部分の中で生きることから来ま
す——ローマ12:4-5. コロサイ2:16-19. ペリピ1:8:

1. わたしたちはキリストとの有機的な結合の中で生きることによって、からだ
の意識を高めるかもしれません——ローマ12:4-5:

a. ローマ第12章がからだに言及しているのは、有機的な結合の角度から、わ
たしたちをキリストとだけでなく、キリストの他の肢体たちとも結合させ
る命からです。

b. わたしたちはキリストの中で一つからだであり、彼との有機的な結合を持
っています。この結合はわたしたちをキリストと、またからだの他のすべ

ての肢体と一つにならせます——4-5節。

2. わたしたちはからだのかしらである、すべてを含むキリストを享受することによって、からだの意識を高めるかもしれません——コロサイ2:16-19:

a. わたしたちが享受する尊い、すべてを含むキリストは、からだのかしらです——I コリント10:3-4. ヨハネ20:22. コロサイ1:18. 2:19。

b. わたしたちが享受するキリストは、かしらであり、わたしたちにからだを意識するようにさせます。ですから、わたしたちがキリストを享受し、かしらである彼に結び付くことの結果は、キリストのからだの意識を持つことです——16-19節。

3. わたしたちはキリスト・イエスの内側の各部分の中で生きることによって、からだの意識を高めるかもしれません——ピリピ1:8. コロサイ3:10-12, 15。

II. ピレモンへのパウロの手紙で、わたしたちはキリスト・イエスの内側の各部分の中で生きた召会生活の絵を見ます——7, 10-16, 20節:

A. 内側の各部分とは、内側の愛情、情け深さ、同情を表徴します——ピリピ1:8. 2:1. コロサイ3:12。

B. パウロの内側の愛情と同情は、オネシモと共にピレモンへと向かいました——ピレモン12節。

C. 「兄弟よ、どうか主にあって、わたしがあなたから益を得ますように、キリストにあって、わたしの心の深みを新鮮にしてください」——20節:

1. ピレモン20節で、キリストは信者たちの内側の各部分（心の深み）を新鮮にするための領域また要素として明らかにされています。

2. 「新鮮にする」という言葉は、「慰める」、「活気づける」ことを意味します。

3. ピレモンが聖徒たちの内側の各部分を新鮮にしたので（7節）、パウロは主にあって今度は自分にも同じことをしてくれるよう彼に求めました。

4. パウロが述べている主にある益とは、キリストにおいて、彼の内側の各部分が新鮮にされることを指しています:

a. パウロの内側の各部分が新鮮にされることは、ピレモン自身において行なわれることはできず、主の中で、キリストの中でのみ行なわれることができました。

b. パウロがピレモンに求めた益（彼の内側の各部分が新鮮にされること）は主から出て来るものです。

c. キリストの中でのみ、わたしたちの内側の各部分は信者仲間によって新鮮にされることができます。これが、信者たちの内側の各部分が新鮮にされるための領域また要素として、キリストを経験し、享受することです。

5. キリスト・イエスの内側の各部分の中で生きることによって、また新鮮にされることによって（すなわち、キリストにおいて、わたしたちの内側の各部分が他の者たちによって新鮮にされ、また信者たちの内側の各部分がわたしたちを通して新鮮にされることによって）、わたしたちは甘くて喜ばしい召

会生活を持つかもしれません。

Ⅲ. ピレモンへの手紙はコロサイ第4章の継続と見なされ、一人の新しい人において、
いかにすべての社会的な地位が脇に置かれるかの実例と考えられるべきです——
ピレモン1-2, 10-19 :

- A. 信者たちの間の社会的な地位と身分の違いは無効にされました。なぜなら、信者は彼らの命である、すべてを含むキリストで構成されているからです——コロサイ3:4。
- B. パウロはピレモンへの手紙で、いかに奴隷と所有者がキリストで再構成されたかの実例を諸召会に与えています。その結果、彼らはみな新しい人の一部分であり、新しい人において平等な身分を持ちます——コロサイ3:10-11。
- C. 神のエコノミーを実行することにおいて、すべての社会的階級と、人種間や国家間の違いが一掃されることは極めて重要です——10-11節：
 - 1. 新しい人において、皮膚の色に基づく区別は無効にされます。パウロはこの事を強く教えており、わたしたちもそれを真理の全き知識の一部分と見なさなければなりません——Ⅰテモテ2:4. Ⅱテモテ2:25. テトス1:1。
 - 2. 信者たちが新しい人において平等な身分を持っていることを見るなら、社会的な地位や国籍や人種に関して、わたしたちの間で問題はなくなります——Ⅰコリント12:13. ガラテヤ3:28. コロサイ3:10-11。
- D. ピレモンへの手紙の主題は、新しい人における信者たちの身分が平等であることの例証です——エペソ2:15. 4:24 :
 - 1. オネシモとピレモンの事例は、新しい人において、すべての信者が平等な身分を持っていることを例証しています——ピレモン1-2, 10-19。
 - 2. 神聖な誕生と神聖な命による生活のゆえに、キリストにあるすべての信者は、一人の新しい人において平等な身分を持っています——エペソ4:24. コロサイ3:10。